倉吉記者クラブ加盟社　御中
鳥取中央有線放送株式会社　御中

発信元	琴浦町
担当課	教育委員会社会教育課
担当者	下村 嘉輝
連絡先	０８５８－５２－１１６１
令和８年１１月４日（水）	

「特別史跡斎尾廃寺跡発掘調査現地説明会」を開催します。

琴浦町では令和８年度の特別史跡斎尾廃寺跡の発掘調査を10月より実施しています。このたび、その発掘調査成果について、下記のとおり「現地説明会」を開催します。

１．現地説明会

（1）日　時　１１月８日（日）
午後１時３０分～午後２時３０分
受付　午後１時００分～
※少雨決行。

（2）場　所　「特別史跡斎尾廃寺跡」
琴浦町槻下　地内

（3）駐車場　伊勢崎地区コミュニティ施設白鳳館
琴浦町槻下２２６８－１



現説会場案内図

２．特別史跡斎尾廃寺跡の概要

特別史跡斎尾廃寺跡は白鳳期(7世紀後半)創建の寺院跡です。現在でも金堂跡、塔跡、講堂跡の礎石列が良好に残っており、主要伽藍地（3,455㎡）は昭和２７年３月２９日に山陰地方唯一の特別史跡に指定されました。現在、その後に確認した斎尾廃寺を溝で区画した東西約１６０ｍ、南北約２５０ｍの寺院地の範囲についても古代寺院の全容を窺い知ることができる貴重な遺跡として、特別史跡に追加指定されています。

現在の指定面積：47,202.46㎡　公有地化面積：40,976.01㎡

３．発掘調査の概要

（1）調査目的

琴浦町では斎尾廃寺跡でこれまでに実施した調査成果をまとめた調査報告書を作成するため、また今後の史跡整備に必要な遺構の現状を確認するために、令和３年度から再調査を実施しています。

令和３年度：史跡東部の斎尾廃寺を区画する内郭溝、外辺区画溝を再調査
令和４年度：史跡南部の斎尾廃寺を区画する外辺区画溝の再調査
令和５年度：史跡北東部の斎尾廃寺を区画する内郭溝、外辺区画溝を再調査
令和６年度：史跡北部の斎尾廃寺を区画する内郭溝、外辺区画溝を再調査

令和７年度：史跡南部と西部の斎尾廃寺を区画する溝を再調査

令和８年度：史跡北部の再調査

（２）令和８年度の調査

今年度は史跡北部の再調査をしました。

・調査期間　令和８年１０月１３日～
１１月２０日（予定）

・調査面積　約 51 ㎡

・再調査の成果と見どころ

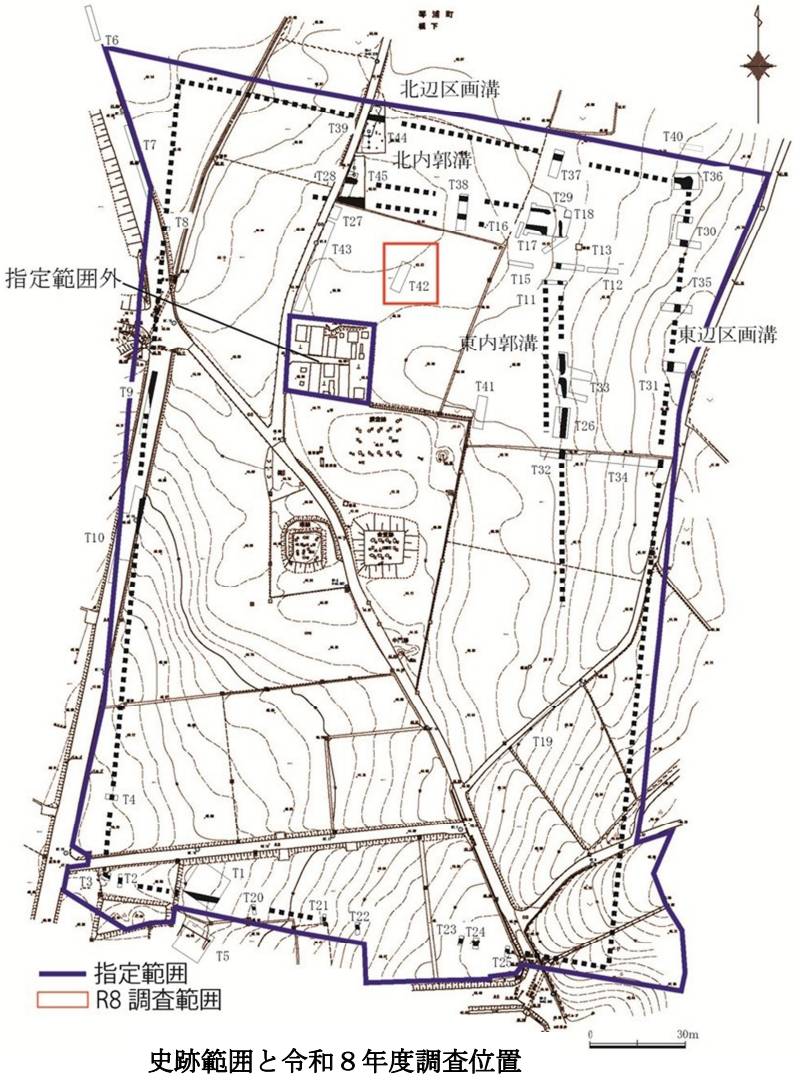
斎尾廃寺跡は、これまでの調査で内郭溝（ないかくみぞ）や外辺区画溝（がいへんくかくみぞ）など、寺域を区画したとみられる溝が確認されています。

今年度の調査では内郭溝の内側で溝を２条確認しました（T42）。



新たに見つかった斎尾廃寺の溝（トレンチ 42）

２条の溝の関連性は明らかではありませんが、８世紀中頃以降（奈良時代）の瓦片が出土するなど斎尾廃寺に関連した遺構と思われます。



史跡範囲と令和８年度調査位置